



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 34 (平成29年11月15日発行)

とちぎの高校生課題研究発表会



口頭発表した水俣班の代表3名



ロビーでのポスター発表



11月2日(木)、栃木県総合文化センターのサブホールを会場に「とちぎの高校生課題研究発表会」および「グローバル人材育成講演会」(栃木県教育委員会主催)が開催され、**SGHクラブ水俣班**の代表3名(高2:倉持未夢さん、古谷菜奈さん、高1:有澤音羽さん)が口頭発表を行いました。

水俣班の研究員は、今年の8月に実施した**熊本県水俣市でのフィールドワーク**の概要とそこで体験したことを元に、自分たちが伝えたいことをまとめ、立派に発表を行いました。当日は、他校の発表や講演会、パネルディスカッションなどが行われ、参加した3名は大きな刺激を受けました。

〈日程〉

10:00~10:10	主催者挨拶
10:10~11:30	とちぎの高校生課題研究等発表会 (宇高、宇工高、栃高、佐高、足利清風高)
12:15~13:15	ポスター発表 (宇北高、白楊高、鹿高、鹿東高、小高、足工高、黒羽高、大高、黒南高、矢高)
13:30~15:00	グローバル人材育成講演会 演題「写真で伝える世界、東北の今」 講師 フォトジャーナリスト 安田 菜津紀 氏
15:10~15:55	パネルディスカッション (留学経験のある高校生3名)

〈倉持未夢さん〉

今回の発表会では、全国で活躍する高校生の発表を生で見ることができました。どの高校の発表も素晴らしく、自分達の今後の研究に活かしていきたいと思いました。

〈古谷菜奈さん〉

学校の行事等と今回の発表までの間が短く、準備が完璧にはできなかったのですが、当日の移動中、また会場入りしてからも改善できる点を見つけ訂正することができたので、自分達なりの良い発表ができました。他校生の発表は動画の利用や実物を用いて行なっており、とてもレベルが高く刺激になりました。また、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの講演では、東日本大震災後話題となった岩手県陸前高田市の奇跡の一本松についてのお話が一番印象に残りました。本来の様子を知っている人と知らない人では、この一本松の写真の捉え方が変わってくるということ。これは、私たちが熊本で学んだ様々な立場から考えることの大切を改めて強く感じました。

〈有澤音羽さん〉

私は今日の発表で、誤情報が行き交う中、フィールドワークで得た事実を多くの人に知ってもらえて嬉しかったです。また、他の学校の発表を聞いて、発表方法や内容など、とても参考になりました。今後も、多くの方に水俣病について知るきっかけを作っていきたいと思いました。